

一般社団法人 日本リハビリテーション工学協会

2015年度第5回(通算第34回)理事会 議事録

1. 開催日時：2015(平成27)年12月13日(日) 11:00～14:48(休憩13:10～13:50)
2. 場 所：「加瀬の貸会議室」 2階 第3会議室(横浜市港北区新横浜3-19-11 加瀬ビル88)

3. 審議事項及び資料

- 第1号議案(専権等の報告) 新入会者の承認：メールによる承認者の報告について
- 第2号議案(専権等の報告) 業務執行報告(総務系 2015年度第3回)
- 第3号議案(専権等の報告) 業務執行報告(事業系 2015年度第3回)
- 第4号議案(専権等の報告) 事業の後援協賛に関する承認について(報告)
- 第5号議案(専権等の報告) 新規後援依頼の専権報告
- 第6号議案(決議) 支部の区割り及び各規定整備
- 第7号議案(決議) KOY支部の企画についての活動費申請
- 第8号議案(決議) 第5回合同シンポジウム開催の件
- 第9号議案(決議) HCR2016 出展について
- 第10号議案(決議) 第12回新潟福祉機器展への試行出展について
- 第11号議案(決議) 福祉機器コンテスト2016 実施計画と予算について
- 第12号議案(決議) 福祉機器コンテスト事務局との契約について
- 第13号議案(決議) 第31回リハ工学カンファレンス in こうち要綱等の承認
- 第14号議案(決議) 第32回リハ工学カンファレンスの神戸開催について
- 第15号議案(決議) 第32回リハ工学カンファレンス大会長の件
- 第16号議案(決議) 第32回リハ工学カンファレンス実行委員長の件
- 第17号議案(決議) 第32回リハ工学カンファレンス開催に関する覚書の件
- 第18号議案(決議) RESNA 提案の国際連携案への対応

4. 理事総数 14名

出席理事数 11名

- | | |
|----------|------------------------------------------------------|
| 会長(代表理事) | 繁成剛 |
| 理事 | 石濱裕規、岩崎満男、沖川悦三、金井謙介、剣持悟、杉本昌子、高原光恵、
中村俊哉、水澤二郎、吉田泰三 |
| 監事 | 相川孝訓、赤澤康史 |
| 事務局 | 深野栄子 |
| 欠席理事 | 畠中規、宮野秀樹、山形茂生 |

5. 議事の経過の概要及び議決の結果

- (1) 定款第49条に基づき、議長となる会長の繁成剛が本日の理事会は定数を満たしたので、有効に成立した旨を告げたのち、開会の辞を述べた。
- (2) 議事録署名人について、議長からの指名により、本日出席理事の金井謙介と剣持悟の2名を選出した。

第1号議案(専権等の報告) 新入会者の承認：メールによる承認者の報告について

事務局担当の沖川理事より、2015年度第4回(通算第33回)理事会以降に専権事項とした9月16日～11月5日、11月6日～30日の計2名(正会員1名(年度当初)、学生会員1名(年度当初1名、内継続1名))

の入会が報告され追認で承認された。

承認 10、非承認 0 （会長除く）

第2号議案（専権等の報告）業務執行報告（総務系 2015年度第3回）

総務統括担当の水澤理事より、各業務執行理事の業務執行状況(2015年10月4日～2015年12月12日)が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

■ 総務統括／規則選挙担当

- ・ 総務系理事に対して、理事会・総会担当理事からの指示の元、12/2nd切として業務執行報告書の提出を求めた（2015年10月4日～12月12日分）。

■ 理事会・総会担当

- ・ 2015年度第3回（通算第32回）・第4回（通算第33回）理事会議事録の取りまとめを行った。
- ・ 今後の理事会開催日程の調整及び2015年度第5回（通算第34回）理事会開催準備を行った。

■ 財務担当

- ・ 財務管理体制について再度検討しながら、財務管理を遂行した。通常の帳簿確認のほか、公益法人化をすぐに目指していないことから、簡易な会計処理方法への移行について公認会計士を含め、総務系関係者で検討した。
- ・ 2016年度会計年度の支出概算を概算要求の形で、各理事から提出してもらい、2016年度会計年度の予算案の作成を開始した。

■ 副会長／事務局担当

- ・ 決算処理に向け、会計必要書類について会計士さんからの助言提案があり、改善方法を検討した。
- ・ 後援・協賛依頼への承認回答を行った。※後援1件（継続1件）、他新規後援依頼への回答送付1件
- ・ 展示会出展における広報活動：H.C.R.2015、P.P.C.2015での広報活動を行った。
- ・ メールニュースの配信：メールニュースを配信し、会員に情報提供を行った。※9月1件、10月1件
- ・ ホームページの運営：会員サービスの一環とし、迅速に情報を掲載した。

■ 広報・渉外担当

- ・ 新リーフレットをH.C.R.2015にて配布した。
- ・ 新リーフレットの簡易英語版をH.C.R.2015にて配布した。
- ・ 公益社団法人 日本理学療法士協会 日本支援工学理学療法学会主催による第2回日本支援工学理学療法学会学術集会の後援となり、協会員メーリングにてアナウンスを行った。
- ・ H.C.R.2015「子ども広場」において、『子ども広場で広げよう！！』車椅子トレーニングイベントの司会、進行を行った。

第3号議案（専権等の報告）業務執行報告（事業系 2015年度第3回）

事業統括担当の金井理事より、各業務執行理事の業務執行状況(2015年10月4日～2015年12月12日)が報告された。なお専権事項の報告については、別途議案提出し審議している。

■ カンファレンス担当

- ・ 第30回リハ工学カンファレンス in おきなわ開催：参加者275名、119演題。課題だった交通アクセス、情報保障に関してはある程度配慮できた。
- ・ 第31回リハ工学カンファレンス開催準備：第一回実行委員会（12/12）に参加した。
- ・ 第32回リハ工学カンファレンス開催準備：開催条件について調整中である。

■ コンテスト担当

- ・ 福祉機器コンテスト表彰式の開催（10/7@H.C.R.）
- ・ H.C.R.2015・P.P.C.2015・カンファレンスでの入賞作品を展示した。
- ・ 福祉機器コンテスト2016の準備（新規協賛企業獲得、事務局委託など）を開始した。

■ 協会誌担当

- ・ 協会誌 Vol.30 No.4 発行：査読後投稿論文（研究報告1件）を掲載した。

- ・ 協会誌 Vol. 31 No. 1 の原稿執筆依頼とネットを活用した情報交換を行った。
- 分科会・委員会担当
 - ・ 支部設置方針の見直し並びに規定の整備を行った。
 - ・ P. P. C. 2015での協会展示、ミニセミナーを実施した (KOY支部)。
 - ・ SIG代表者会議・支部代表会議を開催した (11/13@沖縄)。
 - ・ SIGとの協力関係及び活動支援：段階的な法人化移行についての説明とこれに対する意見集約を行った。カンファレンスにおける基礎講習会は、おおむね好評であった。
- 企画担当
 - ・ H. C. R. 出展 (展示、ワークショップ等)
 - ・ 第5回合同シンポジウムに関する企画及び調整を行った。
 - ・ 30周年記念事業開催に向けての検討及び関係理事との調整を行った。
- 国際担当
 - ・ RESKO、TREATS とのMOA を RESKO カンファレンスにて締結調印した (繁成代表)。この調印についての詳細は、井村国際連携推進委員の方でまとめて協会誌に掲載予定である。
 - ・ 3 団体代表による新たな国際連携の枠組みについて意見交換を行った。
 - ・ 第 30 回リハ工学カンファレンスに TREATS 代表と事務局長を招聘し、スピーチをしていただいた。
 - ・ 国際連携推進委員会立ち上げ：相良・井村委員、繁成会長と ML 上で意見交換を行った。
- 事業統括
 - ・ SIG・支部代表者会議へオブザーバーとして出席した。
 - ・ 各事業担当理事との業務に関する調整、相談対応を行った。
 - ・ 各展示会出展に関する調整 (小倉、新潟、大阪) を行った。

第4号議案 (専権等の報告) 事業の後援及び協賛に関する承認について (報告)

事務局担当の沖川理事より、前回の理事会以降で、継続依頼のため専権事項として承認回答した後援・協賛依頼について報告され追認で承認された。

- ・ 2015/10/21 後援 公益社団法人日本理学療法士協会「第 51 回日本理学療法学会」(2016/5/27~29) 承認 10、非承認 0 (会長除く)

第5号議案 (専権等の報告) 新規後援依頼の専権報告 (2015.7~2015.8)

広報・渉外担当の杉本理事より、新規の後援依頼「第 2 回日本支援工学理学療法学会 (主催：公益社団法人日本理学療法士協会 日本支援工学理学療法学会) 開催日：2015 年 12 月 12 日 会場：首都大学東京 荒川キャンパス」の承認について、専権執行したことが報告され追認で承認された。

承認 10、非承認 0 (会長除く)

第6号議案 (決議) 支部の区割り、及び各規定整備

分科会・専門委員会担当の岩崎理事より、2015 年 10 月 4 日理事会事後調整会議での支部のあり方検討についての協議、及び支部代表者会議での議論を踏まえ、支部の区割り及び規定を定めたいと支部規程 (案)、支部活動費要綱 (案)、支部内規 (案)、支部区割り案が提示されたが、協会主導で設置する内容に変更した方が望ましいことから、2016 年 7 月からの施行をめざし再検討することとし、継続審議とした。

第7号議案 (決議) KOY 支部の企画についての活動費申請

分科会・専門委員会担当の岩崎理事より、KOY (九州・沖縄・山口) 支部から 2015 年 10 月 29~31 日、福岡県北九州市で開催された『西日本国際福祉機器展 (P. P. C. 2015)』における協会ブースの出展支援及びセミナーの実施とそれに関わる企画運営にかかる経費支出について支部活動補助金の請求があり、事後であるが承認をお願いしたいとの提案がされ、審議の結果、満場一致で承認された。

承認 10、非承認 0 (会長除く)

第8号議案（決議）第5回合同シンポジウム開催の件

企画担当の中村理事より、全国頸髄損傷者連絡会と共同で開催していた合同シンポジウムの第5回目を関東で開催したいとの提案がされ、審議の結果、満場一致で承認された。

テーマ：『生活のなかでの褥瘡』その向き合い方（仮）

日時：2016年5月22日（日） 13:00～17:30

会場：東京都 練馬区立・産業プラザ ココネリホール 最大収容人数 500名

※全国頸髄損傷者連絡会では開催を了承されている。

承認10、非承認0（会長除く）

第9号議案（決議）H.C.R.2016 出展について

事業統括担当の金井理事より、H.C.R.2016（2016年10月12～14日@東京ビッグサイト）について、2月中旬～3月末にかけて募集が開始され、これまで10年間継続して出展しているが、継続出展の効果があること、日本最大の福祉機器展に当協会が出展する意義を鑑みて、2016年度も引き続き出展したいと考えているが、3月理事会ではメ切直前となるため、本理事会において出展の承認をいただきたいとの提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。

承認10、非承認0（会長除く）

第10号議案（決議）第12回新潟福祉機器展への試行出展について

事業統括担当の金井理事より、第12回新潟福祉機器展（主催：新潟福祉機器展実行委員会、会場：新潟市産業振興センター、2016年5月14～15日）において、当協会へのブース提供の話が沖川副会長にあったことを受け、同展示会への試行出展をしたいとの提案がされ、審議の結果、満場一致で承認された。

承認10、非承認0（会長除く）

第11号議案（決議）福祉機器コンテスト2016実施計画と予算について

コンテスト担当の山形理事（金井事業統括理事代理）より、福祉機器コンテスト2016の実施計画と予算について実施要綱（案）、予算（案）が提示され、予算（案）修正の上、審議の結果、満場一致で承認された。

承認10、非承認0（会長除く）

第12号議案（決議）福祉機器コンテスト事務局との契約について

コンテスト担当の山形理事（金井事業統括理事代理）より、福祉機器コンテスト2016事務局を、引き続き有限会社車座にお願いしたいと業務委託契約書（契約期間は平成28年3月1日より平成29年2月28日）を提示の上、提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認10、非承認0（会長除く）

第13号議案（決議）第31回リハ工学カンファレンス in こうち要綱等の承認

カンファレンス担当の剣持理事より、第31回リハ工学カンファレンス in こうちの要綱一式（実行委員会規約、実行委員会名簿、事業要綱、実施要領、収支予算書）が提案され、審議の結果、予算案の参加費収入のSIG基礎セミナー参加費の部分をどう扱うかを再検討することとし、継続審議となった。

第14号議案（決議）第32回リハ工学カンファレンスの神戸開催について

カンファレンス担当の剣持理事より、第32回リハ工学カンファレンスを神戸市で開催し、開催時期については、i-CREATE2017（8月22～24日。大会長陳 隆明氏）との同時開催を目指し、会場も同じ神戸国際会議場としたいとの提案がされ、審議の結果、満場一致で承認された。

承認10、非承認0（会長除く）

第15号議案（決議）第32回リハ工学カンファレンス大会長の件

カンファレンス担当の剣持理事より、第32回リハ工学カンファレンスを神戸で開催するにあたり、大

会長として相良二郎氏（神戸芸術工科大学、教授）に就任をお願いすることが提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認 10、非承認 0 （会長除く）

第 1 6 号議案（決議）第 32 回リハ工学カンファレンス実行委員長の承認

カンファレンス担当の剣持理事より、第 32 回リハ工学カンファレンスを神戸で開催するにあたり、実行委員長として中村俊哉氏（兵庫県立福祉のまちづくり研究所、主査）に就任をお願いすることが提案され、審議の結果、満場一致で承認された。

承認 10、非承認 0 （会長除く）

第 1 7 号議案（決議）第 32 回リハ工学カンファレンス開催に関する覚書の件

カンファレンス担当の剣持理事より、第 32 回リハ工学カンファレンス実行委員会との覚書（開催場所は神戸国際会議場で、開催日は 2017 年 8 月 22 日（火）～24 日（木）のうちの 2 日ないしは 3 日間とし、同年 11 月までの任期（決算報告書の締切）を別紙のとおり取り交わしたいとの提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。

承認 10、非承認 0 （会長除く）

第 1 8 号議案（決議）RESNA 提案の国際連携案への対応

国際担当の畠中理事（繁成会長代理）より、RESNA から先日の RESKO で徳島アグリーメントを基本とした新たな国際連携の枠組みが提案され、Grott 会長からは早急に返信を求められており、国際連携推進委員も大筋で合意という意見なので、基本方針は合意という返答を返すこととし、その上で、下記を追記回答したいとの提案があり、審議の結果、満場一致で承認された。

1. 年間約 9 万円という予算は RESJA として支出は厳しい。年間の活動案、支出案を検討した後に具体的な数字は今後検討すべき。
2. 当面は運営委員会が枠組みの基本になっていくが、アジアや他の地域は大きなまとまりとなった方が RESNA や AAATE とのバランスがよく、既存の CREATeAsia を母体とすることも検討の余地に入れるべき。
3. 中央委員会への会議参加や全体カンファレンスの追求が求められているが、努力義務の範囲でないと時間的にも財政的にも難しい。

承認 10、非承認 0 （会長除く）

議長は、以上をもって一般社団法人日本リハビリテーション工学協会の 2015（平成 27）年度第 5 回（通算第 34 回）理事会に関する全ての議事を終了した旨を述べ、閉会を宣した。（14 時 48 分）

以上の議事の要領及び結果を明確にするため、議長並びに議事録署名人は次に署名又は記名・押印する。

2015 年 12 月 13 日

一般社団法人日本リハビリテーション工学協会平成 27 年度第 5 回理事会

議 長 繁成 剛

議事録署名人 金井謙介

議事録署名人 剣持 悟